

2017 AUTOBACS SUPER GT



RACE REPORT

#111

エヴァ RT 初号機

Rn-s AMG GT

GT

SUPER GT Rd. 6 SUZUKA 1000km THE FINAL

8月26日・8月27日 鈴鹿サーキット(1周 5.807km)

入場者数：予選 27,500名 決勝 45,000名 合計 72,500名

8月26日(土)予選 天候：曇り コース状況：ドライ

予選Q1 ポジション：22位(2'00.022) Driver：山下

8月27日(日)決勝 天候：晴れ コース状況：ドライ

決勝 ポジション：13位(Best Lap 2'02.977)



SUPER GT 夏の3連戦の最後を締めくくる【鈴鹿1000km】が今年で最後となる。

46回目となる今年は、観客総動員数 72,500 人という過去最高の総動員数となりラストに相応しい賑わいをみせた。

エヴァ RT 初号機 Rn-s AMG GT は第3ドライバーに植田正幸を迎え鈴鹿1000kmに挑んだ。

8月26日、午前に行われた公式練習では、早朝の雨の影響でコース上はセミウェットの状態で行われた。ドライバー3人がドライブし 2'01.651 で公式練習を終えた。

午後から行われた予選Q1は、青空が戻り完全ドライのコンディションで迎えた。今季初予選Q1を山下亮生が担当する。山下選手 4 周目に 2'00.022 をマークし予選 22 番手で終える。

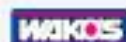
8月27日晴天の中、行われた決勝のスタートドライバーは石川選手が務める。長丁場の1000kmを、決勝 22 番グリッドから追い上げをはかる。今回の1000kmは規定ピットストップ5回を要する事となる。石川→山下→植田→石川→山下→石川の順で決勝を戦う。

スタートの石川選手は、上手くスタートをこなし前のポジションを狙い果敢に攻める。

石川選手29Lap のステイットを走行しモニター上では2番手、山下選手に交代。山下選手も追い上げをはかりながら Lap を重ねる。40Lap 目に SC の導入がありながらも 31Lap を走行し山下選手から植田選手に 60Lap 目で交代。

植田選手も落ち着いたはしりを魅せ82Lap 目に再び石川選手に交代。88Lap 目に2回目の SC 導入があり SC 解除まで6周を要した。

攻めのはしりでステイットを終え山下選手に交代し17Lap 後、山下選手より最後のステップを石川選手に託す。タイヤはリアのみの交換で、石川選手の走りにも熱が入る。



チームの思いを胸に、石川選手はペースを保ったままゴールを目指す。2度の SC 導入があり、ラストの鈴鹿1000kmは当初の周回数173周を満たさない最大延長時刻の18時28分となり172周でチェッカーフラッグが振られた。



チームとしては、今季最も良い13位で鈴鹿 Rd.を終える。次戦タイ Rd.は欠場の為、次戦は最終戦茂木 Rd.になります。

2017年最終戦、今シーズンの集大成としてチーム一丸でベストリザルトを目指して挑みます！

■監督:鈴鹿 Rd.第3ドライバー:植田正幸

最後の鈴鹿1000kmでしたが、今回は第3ドライバーで出場しました。

トップ集団には少し足らなかったですが、ベスト10に入るポテンシャルをマシン、石川、山下両選手、メカチームに感じる事が出来ました。結果は13位と入賞まであと少しでしたが、久しぶりにのる GT マシンに僕が少し足を引っ張りましたね。次戦タイは欠場しますが、最終戦茂木に向けて、もう一度しっかりデータを見直してチーム全員でポイントゲットします。今回も熱い応援ありがとうございました。今後も宜しくお願いします。 RN Sports 植田

■ドライバー:石川京侍

今回の鈴鹿は01を山下選手が担当で、良いタイムが出ましたが22番手タイムでQ2に進む事が出来ませんでした。今回もスタートドライバーを担当し決勝ペースは良く追いつけていき、2番手で山下選手に繋ぎ、植田選手共に良いペースで走る事ができ、今季最高位の13番手でゴールしました。

次は最終戦で期間が空きますが、クルマも良くなっていき、レースの順位も確実に上がってきているので、このままの勢いで最終戦に望みたいと思います！応援して頂いたファンの皆様本当にありがとうございました！

■ドライバー:山下亮生

僕にとってホームコースの鈴鹿、最初で最後の 1000kmレースということの特別な舞台で、今回初めて予選Q1を担当しました。結果は悔しい 22 位でしたが、長い決勝に向けてすぐに気持ちを切り替えました。

決勝はスタートの石川選手からガンガン攻めていき、全員が良いペースでトラブル無く走り切り13位でチェッカーを受けました。今季最高位でした。

この良い流れを維持したまま最終戦に臨みます。次戦も熱い応援よろしくお願い致します。

